

阿蘇市汚水処理施設整備計画（エリアマップ）素案

平成28年3月

阿蘇市

1 阿蘇市汚水処理施設整備計画（エリアマップ）策定の目的

現在、阿蘇市の汚水処理施設整備は、平成23年6月に策定されました「くまもと生活排水処理構想2011」に基づき推進されていますが、行政人口の減少や財政状況の変化等により実態と乖離してきている。また、平成26年度1月に国土交通省、環境省、農林水産省の3省が「都道府県汚水処理構想マニュアル」を策定した。このマニュアルでは、各自治体が汚水処理方式別に明確な役割分担を行うことにより、早期かつ経済的に汚水処理整備を行う汚水処理構想を策定することが位置付けられています。

このような状況の下、阿蘇市では行政区全体の視点に立ち、より効率的かつ経済的で継続可能な汚水処理施設整備の将来の全体像を示すことが必要となっています。

そこで、汚水処理施設整備計画（エリアマップ）は阿蘇市の汚水処理施設整備の指針とするため策定するものです。

2 現状と課題

①阿蘇市の汚水処理整備状況

現在、阿蘇市では公共下水道及び合併浄化槽の汚水処理施設整備を推進しています。

平成26年度末現在の整備状況は、公共下水道事業では5,830人を、合併浄化槽では9,546人を整備し、阿蘇市総人口（27,717人）の55.4%の普及率となっています。

汚水処理施設の整備状況

		下水道	農集排等	浄化槽	コミプラ	合計
熊本県構想 (県全体目標)	普及率 (%)	76.6%	7.0%	16.4%	0.0%	100%
H26年度末 (阿蘇市状況)	人口 (人)	5,830	0	9,546	0	15,376 (総人口 27,717人)
	普及率 (%)	21.0%	0.0%	34.4%	0.0%	55.4%

②維持管理について

公共下水道事業では、全体計画590haのうち330ha（平成26年度末）を整備していますが、整備率が約56%とまだまだ長期の整備が懸念されます。また、供用開始（昭和61年4月）から29年を経過していることから、平成21年度より浄化センターの大規模改修に着手していますが、敷設後、30年以上経過しております汚水幹線管渠の改修も急がれ、多額の事業費が必要となってい

ます。

合併浄化槽事業では、個人の責任のもと行われていることから、一部管理の十分でない場合も見られます。

③地方財政状況等

污水处理施設の整備には多額の費用を要しますが、近年の地方財政のひっ迫により、今後は事業予算の拡大が容易ではなく、さらに少子高齢化等による人口減少で個人負担に多くを期待できないことから、できる限り建設コストの縮減を図るなど、より経済的かつ効率的な施設整備と運営管理を進める必要があります。

3 污水处理施設整備構想の内容

本構想（エリアマップ）では、阿蘇市の污水处理施設整備計画は、昭和60年度から進めております阿蘇市公共下水道事業の全体計画区域を縮小し、個人設置型の合併浄化槽処理施設の区域を拡大していきます。

※ 別添図面（阿蘇市污水处理整備計画）参照

4 構想の推進

公共下水道、合併浄化槽等を連携して整備することにより計画的かつ面的な污水处理施設整備を推進します。また、污水处理施設の円滑な整備促進や個人管理の合併浄化槽管理が適正に行われるよう関係機関と連携し広報・啓発を推進します。

污水处理施設整備には、多額の事業費により長期的な財政措置などを要することから、補助制度の改善や地方財政措置の充実などについて、国・県に対しての働きかけを進めます。